

保険
CAD/CAM冠
にも対応
しています

デンタルデザイナー™の機能

■挿入方向の設定

スキャン後、まずはデザインするクラウンやブリッジに対してミリングバーの挿入方向を決定します。ソフトウェアが自動的にアンダーカット量の一番少ない方向を決めてくれます。(図1)



図1

■マージンラインの設定

次にマージンラインを設定しますが、これもソフトウェアが自動的に適切と思われるラインを算出します。もちろん自分でマージンラインを設定することも可能です。(図2)

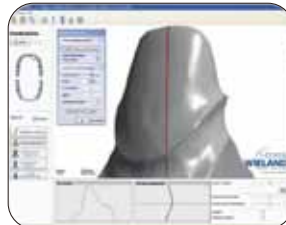


図2

■クラウン、ブリッジ、テレスコープ冠、 カスタムアバットメント

ジルコニアやチタンなどマテリアルの違いによって設定値も自動的に変更されます。ポンティックはライブラリーから選択され、これの形状をカスタマイズすることもできます。また、コネクターの形状も自由にカスタマイズできますし、もし断面積が規定値を下回る場合は警告が表れます。デンタルデザイナー™ソフトウェアでは、素早く、簡単にそして信頼のうえでデザインを行うことができます。

■フレーム形態のデザイン

あらかじめスキャンしたフレーム形態のワックスアップを画面上に読み込み、さらに形態を修正することや対合歯列やチェックバイトを読み込み、これを参考にしながらフレーム形態をモデリングしていくことも可能です。(図3)



図3

モデリングの自由度が高まった近年では、ワックスアップをせず、ライブラリーから呼び出したクラウンを、バイトを見ながら画面上で加工していく手法が主流になりつつあります。

■カットバック機能

新たに、スキャンしたワックスアップや画面上でデザインした最終形態のクラウンから均等にカットバックすることができる機能が追加になりました。カットバックの量はフレームの最低厚みが確保される以内であれば自由に設定することができ、解剖学的に最適な強度のポーセレン築盛が可能となります。(図4・5)

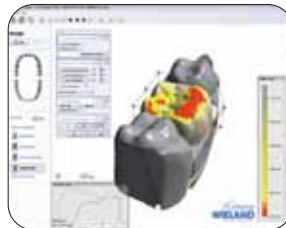


図4



図5

■ゼノスターの製作

オールジルコニアクラウン“ゼノスター”は、デンタルデザイナー™上でデザインされます。ワックスアップを読み込むこともできますし、ライブラリーから呼び出したクラウンの形を元に形態を調整することも可能です。

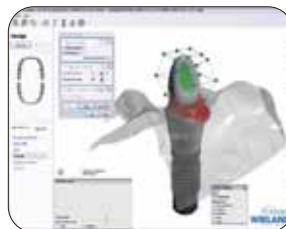


図6



図7

■インプラント・カスタムアバットメント、 インプラントブリッジ

アバットメントデザイナー・ソフトウェア(別売)を使用すれば、インプラント・カスタムアバットメントやインプラントブリッジのデザインが可能です。(図6・7)

※インプラント・カスタムアバットメントの製作はダブルスキャン法でも対応できます。